

敬和創



上田市立第六中学校
学校だより No.4
令和5年7月25日



☆第62回中体連夏季大会県大会・吹奏楽コンクール結果報告

| | | |
|------------------------|---|---|
| サッカー部 県ベスト8 | ☆県大会 1日目 対 筑摩野中 ○2-0 2日目 対 長野日大中 ●1-2 | 熱戦を戦い抜いた六中イレブン！ |
| 女子ソフトテニス部 個人戦県ベスト16 | ☆団体戦 対 広陵中 ●0-3 1回戦敗退 個人戦 大熊 美咲・小林 明紗 ペア 3回戦進出 県ベスト16 対 穂高東中 ○4-3 対 赤穂中 ○4-2 対 長野西部中 ●2-4 | 団体戦は悔しい結果に終わってしまったが、選手・応援が一丸となった素晴らしい試合だった。特に緊迫した場面での一体感が忘れられず、3年生の集大成にふさわしい試合だった。個人戦では、苦しい局面でも声をかけ合い、最後まで諦めない姿が印象的だった。3回戦、北信1位の相手と粘って本当に良い試合だった。 |
| 水泳部 | 坂口 陽音さん 50m自由形 32.15 100m 背泳ぎ 1.28.37 ☆2日間学校代表として、県大会の舞台上で素晴らしい経験ができました！ | |
| 吹奏楽部 | 吹奏楽コンクール東信大会 B 編成 自由曲「海峡をわたる風」金賞 8月4日(金)に行われる県大会へ出場 津軽海峡の灰色の海を想像しながらお聴き下さい♪ | |
| バドミントン | ☆男子団体戦 ☆☆☆準優勝☆☆☆「北信越、頑張ってきます！」(本人談) 上平 湧斗さん(上田スポーツ少年団) 8月2日(水)に石川県で行われる北信越大会に出場 ☆男子シングルス☆☆県ベスト8☆☆ 市川 幸信さん 3回戦出場 | |

そして!

| | |
|---------------------------------------|---|
| 合唱部♪ 課題曲「Chessboard」 自由曲「海の不思議」 | ☆男声パート有志3名の協力を得て、7月31日(月)、サントミュージゼにて行われるNHK全国学校音楽コンクール東信ブロック大会に参加します。響け！六中のハーモニー♪♪(「Chessboard」はOfficial髭男dismによる制作です。) |
|---------------------------------------|---|



72(2学年は73)日間の1学期が終わりました。お疲れ様でした！熱中症や水難事故、SNSの使用に気をつけ、ご家族や仲間とよい夏休みをお過ごしください。

★ 7月校長講話～昇降口前の二宮金次郎像は皆さんに何を伝えているのか？



中体連の夏季大会も終わり、いよいよ明日から夏休みです。73日間の一学期、皆さんはどんな成果と課題があったでしょうか。成果をますます伸ばし課題は今の自分をよりよくするためのチャンスと考え、様々なことにチャレンジして、よりよくチェンジしていきましょう。

さて、この写真を見てください。この写真はある人物の石像です。人物名が分かる人はいますか。二宮金次郎像です。この写真がどこにある金次郎像か分かる人はいますか？

そうです、第六中学校の生徒昇降口の前にある二宮金次郎像です。

それでは、次の二宮金次郎像は、どこの学校にあるのでしょうか？

そうです、浦里小学校です。

それでは、次の二宮金次郎像はどこの学校にあるのでしょうか？

そうです、川西小学校です。

それでは、次の二宮金次郎像はどこの学校にあるのでしょうか？

そうです、川辺小学校です。

浦里、川西、川辺小学校にある二宮金次郎像。二宮金次郎像はなぜ多くの小学校にあるのか、なぜ第六中学校にあるのか、何をした方なのか、そして何を皆さんに伝えているのか？について調べてみました。

二宮尊徳(金次郎)、江戸時代末期(今から240年ほど前)、神奈川県小田原市の農家に生まれ育ちました。尊徳は、身長182cm、体重94kg、足の大きさ28cmと、大きな人だったそうです。

内村鑑三著『代表的日本人』には、西郷隆盛や二宮尊徳など5名の偉人が紹介されています。著書によると、尊徳は幼少期に両親をなくし、叔父の家に預けられました。日々叔父を手伝っていましたが「本を読める人にならなければいけない」という一心から、夜遅くに勉強していました。しかし、それを見た叔父から「油を使うな」と言われました。尊徳は自らアブラナを育て、油屋で油と交換し、その油で勉強を続けました。今度は、叔父から「お前の時間はおれのものだ。読書のような無駄なことに時間は使わせない。」と言われます。すると、今度は作業中に勉強するようにしたのです。それが銅像の姿です。こうして尊徳は叔父を恨むことなく、叔父を困らせない方法を見つけて学び続けました。その後、沼地を耕し、農民が捨てた苗で米を作り、金を得ては土地を広げるということを繰り返して、富を増やしていきました。こうした尊徳のうわさを耳にした藩主から声がかかります。荒れ果てた村を再興する仕事でした。尊徳は自らの生活を律し、誰もしたがない仕事をしている人を評価するなど、雑草魂とやさしさで村人の心をつかみ、村の再興を果たしたのです。

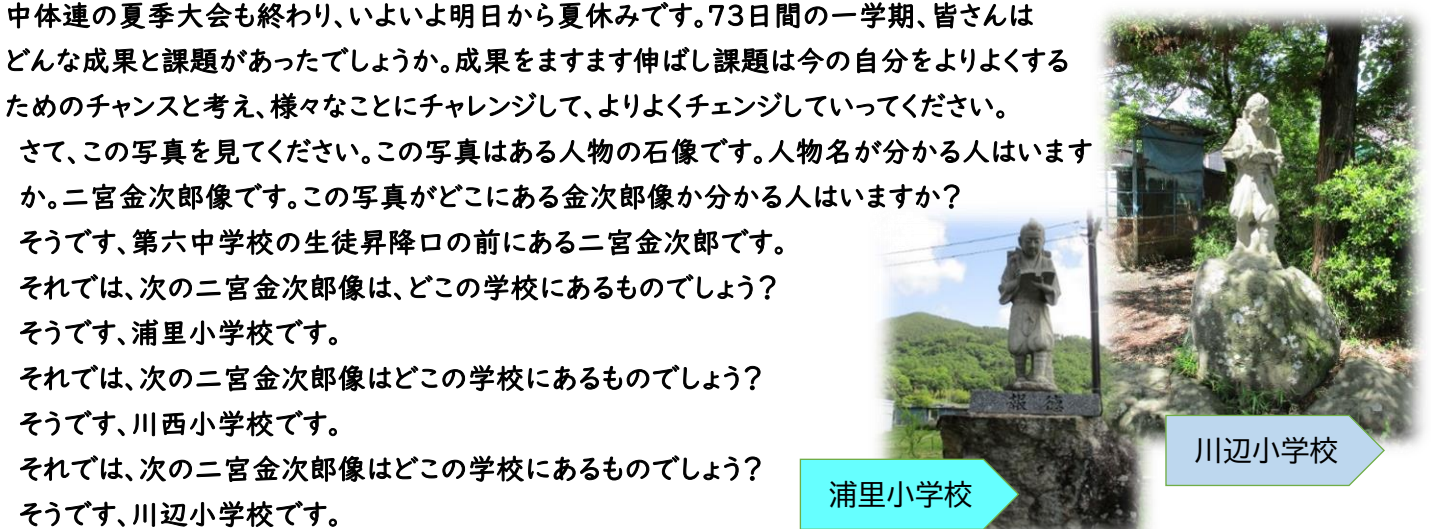
尊徳の逆境に負けない行動力、誠実さは、言い換えれば「たとえ苦しいことがあっても負けない」「人の役に立つことを考える」「正しいことを迷わずする」ということであり、これが戦前の小学校の修身の教科書にたびたび取り上げられ、二宮金次郎像の建立へと広まっていったようです。

では、なぜ第六中学校にあるのでしょうか。六中は昭和63年に創立しましたが、実はこの敷地には小泉小学校があったのです。皆さんの家族の中にも通っていた人もいないのではないでしょうか。小泉小学校の児童が毎日見ていた二宮金次郎像を地域の方が大事に考え、六中にまだ残っているのです。二宮金次郎像ですが、尊徳の7代目のお孫さんの著書によると、尊徳が大事にしたのは、本ではなく、背負っているまき。働くことや汗をかくこと、つまり勤労にこだわったそうです。しっかり働ける人は、たくさん勉強することもできると教えています。更に、像の本当のメッセージは足元。一歩前に踏み出した足です。それは「自分が大切だと思うことは、人から何を言われようが貫き通す人になりなさい。どんなときも一歩前に出て行動することが一番大切。」というメッセージなのだそうです。確かに金次郎像の足元は、一歩前に踏み出していますね。

1年の3分の1が終わりました。明日から夏休み。夏休みが終われば2学期です。今皆さんにとってこの時期「一歩前に出て行動」すべきことは何でしょうか。考えてみてください。ここにいる一人一人の皆さんが、是非一歩前に踏み出せるようになれるよう願っています。応援しています。

第六中学校

川西小学校



浦里小学校

川辺小学校